

重点施策 地域の教育力を活用した家庭・学校への支援の充実				評価実施者		所 属 職・氏名	教育支援課 課長 吉川 修
重点施策の概要	目 的	学校、家庭、地域が協力して子どもを育てる体制を整えるため、学校の教育活動における地域との関わりを深めるとともに、家庭や地域での生活を円満で健全に過ごすことができるよう支援します。					
	今年度の主要事業	①学校支援地域本部事業の充実					
事業の目標と実績	区 分		単位	H22	H23	H24	特記事項
	1	学校支援地域本部事業によるボランティア参加者の延べ人数	目標	—	—	729人	
		実績	562人	663人	679人		
	2	目標					
		実績					
	3	目標					
		実績					
	4	目標					
		実績					
	事業の分析効果の検証		①学校支援地域本部事業の充実・・・学校の教育活動に、地域人材がボランティアとして参画し、技術や技能を提供していただき、そのことを通じて教職員や子どもたちとの絆が深まり、効果的な学校を展開できた。 24年度→水泳授業、スキー授業、夏休み学習相談、田植え等農業体験等				
課題		①学校支援地域本部事業・・・ボランティア人材の確保を確実なものにするため、個人や団体とのつながりを十分に図る必要がある。					
評価	A 評価の視点1 期待どおりの効果があったか 学校要望と人材確保が合致して事業が行われ、地域人材と教職員が協力して、子どもの育みを支える活動が出来た。 評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 引き続き実施する。						
【評価の区分】							
A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。 D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要							
事業の今後の方向性	地域人材の確保に努め、学校の教育活動の充実を図りたい。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☒ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☒ 継続						
◎外部評価委員の評価・意見等							
点検・評価に関するコメント	教員に対する人材はどうか。例えば養護学校出身の人に特別支援のことを教わるなど取り組んでみてはどうか。						